

総合東京病院

住所：〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-12

TEL：03-3387-5421（代表）

HP：<http://www.tokyo-hospital.com/>



リハビリテーション科医師(2020年5月現在)

責任者：センター長・専門医・指導医・認定医 宮野佐年(新潟大S4卒)

他2名

総病床数：451名、回復期リハビリテーション病床：145床、

診療科・センター数：29

理学療法士 195名、作業療法士35名、言語聴覚士20名



責任者からのコメント

リハビリテーション科専門医は、障害の原因・種類・程度、患者の残された機能や能力を正確に評価し、その能力の回復のために、障害の軽減、残存能力の強化、補装具や自助具の使用、生活環境の修正など多方面からのアプローチを組み合わせ、患者の機能・能力を最大限に引き出し、QOLの向上に寄与することが重要です。また、関連する他科との協調や、リハビリテーション関連専門職種と一緒に、患者のQOL向上を目指して、チームを一つにまとめてリハビリテーションを進めていくことが期待されています。

研修病院としての特徴

1. 人材豊富で良環境の回復期リハビリテーション病棟

常勤医師3人を擁し、セラピストも多数在籍しています。このことが、リハ医の指導の下、365日体制で個々の患者に合わせた必要十分なリハビリテーション治療を行うことを可能にしています。退院前カンファランスや、家屋調査なども行い、退院に際して不安がないように家族とのコミュニケーションをよくし、在宅復帰率も80%を超えています。また2017年4月から回復期リハビリテーション病棟が新しい病棟になり、患者のアメニティも格段に良くなりました。

2. 病期に応じたリハビリテーション

急性期の患者も入院当初から患者の病態に応じて十分なリハビリテーションを行っており、必要に応じて回復期リハビリテーション病棟への転棟も随時行われています。また、生活期のリハビリテーションとして通所・訪問・外来リハビリテーションも行っています。

3. 最新のリハビリテーション治療

外来通院や短期入院の脳卒中患者に対して、ボトックス注射や反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)と集中リハビリテーションを組み合わせたりハビリテーションを行っています。また、ロボットをはじめとする最新の医療機器も多数導入されており、その効果の有無などの検討も始めています。心肺運動負荷試験(CPX)検査を行う機器もそろっており、循環器内科と協力して心臓リハビリテーションの経験を積むことも可能です。

最後に

Slow, but Steady.

リハビリテーション治療はすぐには、結果は出ないものです。

しかし、継続すれば必ず結果はついてくると信じています。



南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院